



鹿児島県立甲南高等学校
SSH通信 (sci- 甲!)
令和7年10月6日
39号担当
2-5 (松窪・山崎)
1-4 (原園・西川)

SSH 生徒研究発表会 8 月開催！

本校3年生発表会最優勝チームが出場

クロボシセセリの分布について約2年間研究してきた3年生が令和7年度SSH生徒研究発表会に出場しました！

SSH 生徒研究発表会は日本全国のSSH指定校等の代表生徒が集結し、日頃の課題研究の成果を発表する神戸で行われるコンテストです。令和7年度は、SSH指定校及び過去に指定経験のある学校のうち参加を希望した学校（238校）がポスター発表を実施し、多くの見学者が来場しました。



内村さん 齊藤さん 吉本さん 森さん 小溝さん

研究内容

「クロボシセセリを追って～分布の北上について～」



クロボシセセリの写真

- ・南方系の昆虫クロボシセセリが北上しているのではと注目
- ・鹿児島本土だけでなく、種子島・屋久島など県内120か所で観察、採集した個体を遺伝子調査
- ・文献・SNS・住民への聞き取りで確認例を収集
- ・地球温暖化による気温上昇や食草分布が北上に関係している可能性を指摘
- ・分布の北上が温暖化の指標となることを指摘

小溝・吉本両先輩にインタビュー！！

ー 今回の大会を終えての感想を教えてください。

どの学校の研究も本当にレベルが高くて、驚かされました。特に生物分野は激戦区で、発表の数もすごく多かったです。生物はまだ解明されていないことが多いからこそ、みんなが取り組みやすくて、研究テーマが豊富なのだと思います。

ー 発表や結果についてはどう感じましたか？

全体で240件くらいの発表があった中で、上位に入ることはできなかったのは正直少し残念でした。でも、大会を通して得られたものは大きかったと思います。たとえば、自分と同じように「好き」や「興味」から研究を始めた人と出会えたり、知り合いができたしたりしたのが、とても楽しかったです。

ー 最後に、これから研究を始める人へのメッセージをお願いします。



難しいことをいきなりやろうとする必要はないと思います。身近なところに目を向けて、「なんでだろう?」と思ったところを少しずつ調べることが大切です。小さな疑問でも掘り下げていくと新しい発見につながったり、自分だけの研究テーマになったりします。そうやって興味を持続けることが研究を楽しむ一番の秘訣だと今回の大会で改めて実感しました。

ー インタビューへのご協力ありがとうございました。

